

一般社団法人日本石材産業協会講習会

10月2日(水)に(一社)日本石材産業協会様からの要請で、石材施工に関する講習会を行いました。場所は静岡県の株式会社イシフク様の事務所と倉庫をお借りして講習をお行いました。参加者は多方面からお越しになりました。約30数名の方が参加して頂きました。

今回の講習は、石材関連で使用する変性シリコン樹脂系接着剤の特徴や強度計算等の勉強とアンカー金具を併用した施工方法を講習しました。また、近年取り締まりが強化されている、産業廃棄物に係る勉強もしました。

午前中は、(一社)全国石材施工協会代表理事の井比代表がパワーポイントを使用して変性シリコン樹脂系接着剤の施工についての座学を行いました。

各石材店の皆様はボンドやコーキング材を使用して数多くの施工をされていると思いますが、ボンドの正しい使い方を正式に勉強されている方は少ないのではないのでしょうか。基本でもあるコーキングの種類から始まり、それらの特性の説明。次にボンドの種類と、それらの特性の説明。

次に数値で見るコーキングの施工強度の説明。使用する量によって地震に対する強度が違ってくることを計算式にて説明をしました。この方法によりコーキングの地震に対する強度計算が誰にでも出来るようになり、施主様等に説明が出来るようになるのではないのでしょうか。

また、産業廃棄物の近年の罰則強化や対象になる事案を、実例を出しながら勉強しました。



一般社団法人日本石材産業協会講習会

午後は、(株)藤栄様によるアンカーボルトの勉強をしました。

アンカーボルトも元々は建築材関連から出てきたものなので、コンクリートに対する施工を基本とするものがほとんどでした。石材施工で使用するアンカーボルトの開発が、待たれていましたがこの度(株)藤栄様で扱っているパワーアンカーは従来品より石材に特化した製品になっていました。

座学では市場で使用されてきた、アンカーボルトの長所や短所の説明から始まり、従来品と新商品との違いを説明後、実地指導に入りました。

やはり口頭だけでは自分の主観が入り自己流の施工になりかねないので、実際に現物を使用しての実地指導は重要です。(ボンド施工がいい例です。見よう見まねで施工している方が大半ではないでしょうか)

板石にドリルで穴あけから始まり、穴の深さ、あけた穴の石の粉の処理、トルクレンチを使用するの固定など手順や数値等が明確なので初めての方もベテランの方も手順通りに仕事を進めれば同じ施工が出来る。これは、この業界にとっては重要なことではないかと思えます。

施主様により工事を提供するには、各石材業者が新しい工法や新商品をいち早く取り入れより大きな安心を届けることだと思います。ぜひ、業界を盛り上げるためにも皆様と一緒に頑張っていきましょう。

